

## 第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成30年11月10日（土） 10時～12時
- 開催場所 近隣センターふさの風
- 参加者 21人
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他管理職12名
- 懇談要旨

市 民：本日配布した資料を事前に、例えば近隣センターや行政サービスセンターなどに出来れば1週間前に置いていただき事前に我々に見せていただけないか、ということをご検討できませんでしょうか。

市 長：以前にも同様な要望がありました。なるべく出来るだけ直近のものを作成しておりますので、事前に印刷したものを置くのは難しい状況です。現在は1週間前にHP上には載せております。この場ですぐにご意見をすべての項目に対していただけるとは思いません。懇談会が終了しても質問がある場合は、市政への手紙やメールで提出いただければ、お答えしておりますのでよろしく願います。

市 民：文化交流拠点施設の維持管理費が年間毎年おおよそ3億5千万円かかるということでした。外からのお客様をどの位見込んでいるのでしょうか。駐車場収入など見込んでいますがどのくらいになるのか、収入として外からのお客様をどの位見込んでいるのか、その方々にお金を落とさせていただくよう、その方法を考えた方が良くと思います。

企画財政部長：文化交流拠点施設としては、賑わいをつくり出す施設としての役割もあります。資料にあります運営費用の収入の部分は現時点で示せる一部となっております。これから皆様に意見を頂戴していく事となっております。利用者の皆

様にどの程度のご負担をいただけるのかなども今後検討していくこととなります。

市長：以前の市民会館で維持費が毎年2億円程度かかっていました。同規模を建設しようとする建設で約45億円、年間で約1億円維持費がかかってました。

今回提示させていただいた報告書には収入の部分は入っていません。当然、多くの方に使用していただければ、その分収入が増えることとなります。駐車場運営として手賀沼公園にあるアビスタの駐車場は黒字となっています。

市民会館としてではなく、そこに賑わいづくりができるような文化交流施設を建設しようとする事です。建設に賛成・反対の意見を広く市民の皆さんから頂戴し、来春を目標に意見をまとめて、次のステップに進めようと考えています。

市民：我孫子市には市民プールがありません。取手市とは相互の施設利用に関する協定がありますが、東地区の場合、印西市が近いことからそちらとも協定を結んでいただけないか。

また、クリーンセンターの建設が予定されていますが、その際、余熱を利用したプールができないかについて質問します。

市長：クリーンセンター建設に合わせたプールの建設は考えておりません。クリーンセンター建設に伴い、国（国交省）からの補助金を活用いたします。余熱につきましても、電力発電にしてクリーンセンター用と売電に活用しようと計画しています。

印西市との話は、現在、布佐地区まで印西市の負担割合を出しながらコミュニティバスの運行があります。施設の相互利用も現在進めているところです。

今後も、市単独が良いのか、広域連携が良いのかを効率の良い方法をよく考えながら、進めていきたいと思えます。

市民：ゴミネット問題についてですが、カラスや猫の被害があるため、ネットをブロックやパイプなどで止めていますが、なかなかうまくいかないことと、高齢化が進んできて、ブロックを持ち上げられない状況があります。このゴミネット

について何かいい方法があれば、お聞きして参考にしたいと思います。

市長：市内の地域会議では必ず高齢化やゴミ問題が話し合われています。その中で、天王台南地区でのネットを活用したゴミ集積方法は、非常に有効であることから他の地区にも紹介したところ、有効であることが実証されています。

後ほど資料を担当課よりお届けしますので参考にしてください。

市民：横断歩道の白線が消えかかっている箇所が多い。ドライバーから夜間など特に見えにくいです。事故が起きると困るので、早めに対応していただきたい。

市長：私も気になっていることです。横断歩道や信号機など新設や維持管理に関することは我孫子警察署が窓口になっているところですが、工事するための予算は、県予算となります。この予算が確保できないことには工事ができません。県議にも相談しながら、ぜひ予算の確保、増額をしてもらおう要望を続けていきます。

市民：布佐上町の水害対策工事が前回説明では9月に始まることだったが、遅れた理由と、現在の工事の状況はどうなっているのか。

建設部長：遅れた理由は、雨の多い時期を避けたためです。工事に関しては、入札が終わり業者が確定いたしましたので、今年度中に着手いたします。

治水課長補佐：調査工事を11月中に行い、12月に工事着手する予定です。地元へは、工程など予定が決まり次第、早めに自治会長さんや地域の方に分かるようにチラシなどでお知らせいたします。

市民：我孫子市は全国に向けてあまりPRしてないように見受けられるが、全国に向けた活動をしているのか。ふるさと納税の収支も伺いたいと思います。

企画財政部長：ふるさと納税の制度は平成20年度からあります。我孫子市では平

成27年10月からインターネットでできるようにしました。納税額は29年度740万円、一方我孫子市民が他市に納税し住民税の減税となった額が、1億2千万円でしたので、納税額より減税額が1億円強上回っています。

国の方では、返礼品の過当競争になっていることから、返礼品の額を30%以内まで、市内の場合、返礼品を送らないなどといった、ルールが出来ました。

我孫子市の場合は当初から返礼品は30%以内としていました。また、返礼品については、ふるさと産品を中心にお礼品を提供していましたが、それだけだと寄付が集まりにくいので、最近では手賀沼花火大会の栈敷席をプレゼントしたり、手賀沼エコマラソンの出走権を提供しております。今後も工夫をしていきたいと思えます。

市長：ふるさと納税の制度により、大都市周辺は軒並み赤字となっています。

しかし、地方では黒字となっている地域もあることから、全国的には2分化している状況です。

全国PRにつきましては、PR目的が、東葛飾地域の我孫子に住もう、日帰りで我孫子に行ってみようを選択していただけるよう、東京を中心とした周辺エリアを対象としていますので、全国を対象とはしていません。

市民：文化交流施設建設でのホールについてですが、現在利用している、けやきプラザ内の500人収容のホールは音楽には適していません。市民だけではなく県外からも集客できるような多くの来場者を見込んだ場合、以前の1000人規模の市民会館のような活動をしようとする、柏市等市街の施設を利用するしかありません。また、300人規模のホールは近隣でも珍しく使い勝手が良く、多くの団体の利用が見込める規模だと思います。ぜひ計画を進めていただきたいと思います。

もう一点は、我孫子駅についてですが、我孫子市の中心駅である我孫子駅にホームに降りるエレベーターがない、小さな子供を持つ親子や、高齢の方々のために設置してください。

市長：文化交流拠点施設は今回の報告では、1000人・300人のホールを建設する報告となっています。ご意見としては既存のホール500人・200人のものがあるから、300人のホールはいらない、2つのホールを合わせて1200人のホール1つでいい、また、3億5千万円のコストを削減する、収入を増やす方法など様々な意見を頂戴して、来年度までにまとめて次の段階に進められればと思っています。

我孫子駅のエレベーターについてですが、私も多くの皆さんから要望を直接伺っています。実際8年前に一度やろうとしましたが、残念ながら実現できませんでした。

31年度には詳細設計を行い、再来年には工事に着手する予定です。

市民：空き家対策についてですが、最近是不動産屋さんが空き家を外国人のために住んでいただく、いわゆるシェアハウスとして活用しているようです。しかし、住んでいる期間が短期の場合が多く、家の管理が行き届かなく荒れている状況です。近隣との問題点はゴミ出しなどのルールが人の入れ替わりが早いことからなかなか理解されない、継続されないなどの問題があります。何か対策はありますか。

市長：市内に外国の方も多くお住まいになるようになりました。特に市内に日本語学校ができてからは、短期でお住まいになる人が多いのかと思います。そのため、ゴミ出しなどの近隣とのトラブルが発生するかと思います。市といたしましても、学校や不動産屋さんに協力いただきゴミ出しカレンダーの外国語版を作成し配布して、協力していただくようにしているところです。

シェアハウスとして戸建を利用している話は今回初めてお聞きしました。新しい情報がありましたら、ぜひ市の秘書広報課の方に情報提供をお願いします。

市民：空き家対策について提案します。現在、私の地区でも15件ほど空き家になっています。空き家になるときになんの連絡もなく、警察に聞いても把握してません。そこで市の条例か何かで連絡していくような制度ができないでし

ようか。ぜひ、法規制してほしいと思います。

市民生活部長:空き家は市内で725件あります。現在は空き家の調査に併せて、倒壊の恐れのあるブロック塀も調査項目の中に入れて調査しています。

また、空き家にする場合、市役所に届け出る条例を制定しても、空き家対策に実効性のある物となるとは思えません。空き家と判断した場合、所有者の方に通知しているところです。

市長:空き家問題は非常に難しい問題です。これまで10件ほど管理不全の建物がありましたが、2件の家族から了解を得て取り壊すことができました。この管理不全の建物は今後増えていくものと思っています。

条例などの規制も国の法律を上回ってはできませんが、市町村で対応していく上で、近隣の市と話し合い一緒に国に要望していくことはできます。

市民:先ほど話のありました、調整池の工事について広報などで報告してください。

市長:市の広報は市全体にかかわることですので、今回の工事につきましては、周辺の皆様にポスティングするなどの方法で周知したいと思います。

市民:終末処理場の悪臭対策について、千葉県に話しているということですが、我孫子市単独ではなく、利用している関連7市でまとまって強力的に、手前3列を蓋していただければ、かなり臭気が収まると思いますので早期に実現できるよう要望していただきたい。

10月31日に水戸市と我孫子市を含む東葛6市の東海原発事故が発生した場合の受け入れに関する協定を結びましたが、受け入れ計画はできていないということですが、いつごろまでに作る予定ですか。

また、計画ができる前に大地震が起きた場合、稼働していない施設からも放射性物質の影響は十分考えられますが、計画の無い場合、受け入れに関してど

のような対応を取られるのか教えてほしい。

市長：終末処理場の臭気対策の要望は我孫子市単独で行っているわけではなく、他市と合意を図ったうえで要望活動をしています。ご理解ください。

計画の策定についてはこれから打ち合わせする事です。いつまでというのは見えていません。

事故が起きた場合、計画が有っても無くても受け入れます。